

第93回メーデー中央大会開催

4月29日(金)、「第93回メーデー中央大会」を東京・代々木公園で開催し、4800名(主催者発表)の加盟組合などが参加し、JR連合から130名の加盟単組とともに関東地区本部が参加しました。

式典では主催者を代表して連合芳野会長より「春闘で多くの中小組合の仲間が正念場の交渉を展開している。この流れを連合全体で支援し、これまで生み出してきた賃上げの流れを最後まで継続させ、日本全体に広げていく」「正社員だけでなく、非正社員やフリーランスが働く環境の改善も必要、雇用と暮らしを守り、将来の希望につなげることが重要」「コロナ禍に加え、資源価格の高騰や円安で物価上昇が懸念される中、派遣など非正規雇用で働く人や女性、外国人労働者らが大きな打撃を受けており格差是正が重要だ」と訴えました。

来賓挨拶では、政府から岸田首相の代理として松野官房長官が出席し、政権が取り組む賃上げ政策などをアピールする中で「岸田首相は式典出席がかなわなかったことを大変残念に思っている」「ここ数年低下する賃上げ水準を一気に反転させ、新しい資本主義の時代にふさわしい賃上げが実現することを強く期待する」と述べられました。

その後「フリーランスからの訴え」として。映画の小道具を制作するSAORIさん(38)が登場し、仕事の発注者に比べて立場が弱く、不利な条件で契約を結んでいると指摘。「業界で働く全ての仲間が安心して働ける世界にしていきたい」と語りました。

さらに、ロシアの軍事侵攻により多くの被害が発生しているウクライナ出身のドゥブニコバ・ヤナさんが、「戦争があってはなりません。新生児を殺す戦争を始める人、妊婦を殺す戦争を応援する人、病院や学校を壊す戦争に協力する人、地球を滅ぼす戦争から利益を得る人たちを許してはなりません。Hi viй ni. 戦争反対!」との切実な訴えがあり、参加者は改めて即時の紛争終結とウクライナ国民への連帯の気持ち、世界の恒久平和に向けた想いを一つにしました。

式典は、「メーデー宣言」を採択し、感染対策として頑張ろう三唱に変えて主催者が配布した「PEACE」「NOWAR」ハンカチを振り、式典を終了しました。

